

兵庫県芸術文化協会

(公財) 兵庫県芸術文化協会文化振興部
〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
(兵庫県民会館内)
Tel.078-321-2002
編集・発行人/西上三鶴
(公財) 兵庫県芸術文化協会理事長
https://hyogo-arts.or.jp

SNSやっています!

Facebook



Twitter



YouTube



Instagram



2023年

8月号

434号



題字：井茂圭洞 (書家・文化功労者)

ふれあい文化の祭典 県内各地で開催!



丹波地域文化フェスティバル

様々なジャンルの伝統文化を体験できます。

【日時】 8月6日(日)12時~16時

【場所】 丹波の森公苑【入場料】 無料

【問い合わせ】 丹波地域文化フェスティバル実行委員会事務局

☎0795・72・5170



先月の作品・参加者募集につづき、今月号では、8月、9月開催のイベントをご紹介します。ぜひ、足をお運びください。

ひょうごブラスフェスティバル

県内各地の吹奏楽団による華やかなブラスの祭典。

【日時】 9月17日(日)11時45分~16時

【場所】 川西市キセラホール

【入場料】 無料

【問い合わせ】 兵庫県吹奏楽連盟☎079・444・0510



西播磨文化フェスティバル

西播磨ふるさと写真展

中・西播磨の自然・環境、文化・史跡、生活、祭りをテーマにした写真展。

【日時】 9月2日(土)~8日(金)9時~17時

【場所】 西播磨文化会館【入場料】 無料

【問い合わせ】 西播磨文化会館☎0791・75・3663



ひょうご日本民謡フェスティバル

日本全国の伝統ある郷土民謡の唄声、踊りを披露。

【日時】 9月17日(日)12時30分~16時

【場所】 神戸市長田区文化センター 別館ピフレホール

【入場料】 無料

【問い合わせ】 日本民謡民舞兵庫県連合会☎078・861・4583



ひょうご邦楽の祭典

日本伝統音楽の深みのある癒しの音色をお届けします。

【日時】 9月3日(日)12時30分~16時

【場所】 県立芸術文化センター阪急中ホール

【入場料】 無料(要整理券)

【問い合わせ】 兵庫県箏絃連盟事務局☎078・231・1731



第50回兵庫県交響楽祭

県内で活躍するアマチュアオーケストラと弦楽アンサンブル5団体が日頃の成果を発表。

【日時】 9月18日(月・祝)14時~17時(予定)

【場所】 県立芸術文化センターKOBELCO大ホール

【入場料】 無料(要整理券)

【問い合わせ】 兵庫県オーケストラ協議会 Email:rxj01765@nifty.com



姫路城世界遺産登録30周年記念

兵庫県いけばな展(姫路市会場)

姫路茶華道会を中心に姫路市近隣の各いけばな協会、兵庫県いけばな協会の先生方によるいけばな展。

【日時】 9月9日(土)・10日(日)10時~17時(10日は16時閉場)

【場所】 アクリエひめじ 展示室B【入場料】 無料

【問い合わせ】 兵庫県いけばな協会事務局☎080・4564・1758



アンサンブル・フェスティバル兵庫2023

音源審査で選出された音楽愛好家・グループによる素晴らしいアンサンブルの披露。

【日時】 9月10日(日)15時~18時15分【場所】 県立芸術文化センター

神戸女学院小ホール【入場料】 無料(要整理券)【問い合わせ】 アンサンブル・フェスティバル兵庫2023実行委員会078・367・3560



レンガ壁と御影石が織りなす幻想的な空間が広がるトンネル内(昨年の特別見学会)



昨年、好評いただいた湊川隧道特別見学会を今年も開催します。湊川隧道は明治34(1901)年に竣工した日本初の近代河川トンネルで、神戸の近代化と人々の暮らしを守り続けた貴重な土木遺産として、国登録有形文化財に指定されています。

当日は、見学とあわせて隧道の歴史や特徴などについてお話を伺います。歩きやすく汚れてもよい靴でご参加ください。

【日時】 10月17日(火)14時~15時

【集合場所】 湊川隧道呑口に14時集合(神戸市バス熊野橋バス停徒歩4分)

【講師】 新谷 和(湊川隧道保存友の会副会長)

【定員】 50名※応募者多数の場合は、抽選となります。

【参加費】 無料

【申込み】 ①催し名②参加人数(2名まで)③参加者の住所、氏名、生年月日、性別、電話番号(できれば携帯)、FAX番号④友の会会員の方は会員番号をご記入のうえ、当協会文化振興部までFAX(078・321・2139)またはメール(sinkoubu@hyogo-arts.or.jp)でお申し込みください。

【問い合わせ】 当協会文化振興部☎078・321・2002

短期講座 湊川隧道特別見学会 参加者を募集

締切9月1日(金)



新進芸術家に発表の場を! 兵庫県民会館けんみんホールで開催! 新進芸術家育成プロジェクト・リサイタルシリーズ

9月 Vol.61

河本 祥太郎

チェンバロ・リサイタル



【日時】 令和5年9月15日(金) 19時

【出演】 チェンバロ/河本 祥太郎

河本 祥太郎

兵庫県立西宮高等学校音楽科在学時に、合唱で16世紀の音楽作品に触れたのをきっかけに、作品が作られた当時の楽器や演奏様式を重んじる演奏スタイルに興味を持ち、チェンバロを始める。特にフランスのパロック音楽に関心を持ち、東京藝術大学古楽科を経て現在はパリ国立高等音楽院修士課程に留学中。

【予定曲目】 ルイ・マルシャン/クラヴサン曲集 第1巻、ジャン=バティスト・リュリ/抒情悲劇《カドミュス》より序曲、フランソワ・クープラン/第8オールドルほか

【入場料】 一般3000円、学生2000円(全席自由)

*いけばな/佐伯一甫(末生流(庵家))

読者プレゼント

公演チケットを3組6人に会員特典 公演に友の会会員をご招待。5組10人に。※いずれも応募多数の場合は抽選。応募方法は本紙2面。8月14日(月)必着



神戸ジャズ100周年!



100周年事業のイベントなど、詳細は神戸ジャズ100周年特設サイト(https://kobe-jazz100th.jp/)にてご確認ください。



神戸でプロバンドによるジャズが初めて演奏されてから100周年を迎えることから、市内で多くのジャズイベントが開催されるほか、市内をジャズのBGMで彩る「ジャズの街神戸」プロジェクトが開始しています。

兵庫デスティネーションキャンペーンの期間に合わせて、山陽新幹線の神戸駅で新幹線の発車予告音にジャズ音源を使用。市内のJR神戸線各駅の構内、商店街、トイレなど、まちなかのあらゆる所でジャズ楽曲がBGMとして流れます。誰でも自由に楽しめる無料のジャズフェスティバル。たくさんの方のイベントの中から一部をご紹介します。

お気軽にお楽しみください。

- ▼ KOBÉ JAZZ Academy "STUDENTS LIVE"
 - 【日時】6月24日(日)
 - 【場所】神戸ハーバーランドスベースシアター
- ▼兵庫津 JAZZ LIVE
 - 【日時】10月21日(土)
 - 【場所】兵庫津周辺
- ▼Kobe Jazz Centennial
 - 【日時】10月22日(日)
 - 【場所】神戸三宮・旧居留地周辺のまちなか会場
 - 【出演者】一般公募の30組程度。別途プロ数組を招へる予定

神戸でプロバンドによるジャズが初めて演奏されてから100周年を迎えることから、市内で多くのジャズイベントが開催されるほか、市内をジャズのBGMで彩る「ジャズの街神戸」プロジェクトが開始しています。

▼第14回特別展「時空を旅する迷路絵本 香川元太郎・志織の世界」
歴史考証イラストレーター香川元太郎さんとイラストレーター香川志織さんの迷路絵本展。元太郎さんのお城シリーズ原画も展示。
(一般500円、高大生300円、小中生250円) 9月26日(火)～9月27日(水)

▼第46回「三三」企画展「とよおか歴史絵物語原画展」(無料) 9月26日(火)～9月27日(水) (問い合わせ 0799642611)

▼「渡辺おさむ お菓子の神様展Ⅱ」関連ワークショップも開催
詳細は「友の会たすね歩き」をご覧ください。
【友の会割引あり】 (問い合わせ 07996525456)

豊岡市立日本・モンゴル民族博物館

▼第89回企画展「ピエツグラフィによる赤羽末吉『スーホの白い馬』展」
「モンゴルの民族楽器「馬頭琴」の誕生物語として知られる絵本『スーホの白い馬』を、作品の質感を高度に再現したピエツグラフィで紹介。小学校2年生の方は必見! (一般500円、高大生300円、小中生250円) 8月22日(火)～8月27日(日) 【友の会割引あり】

▼第90回企画展「モンゴル人絵本作家による『モンゴル大草原800年』原画展」
モンゴルと日本の国交樹立50周年を記念したオリジナルの絵も合わせてご紹介。(一般500円、高大生300円、小中生250円) 8月24日(木)～10月31日(火) 【友の会割引あり】 (問い合わせ 07996561000)

豊岡市立歴史博物館―但馬国府・国分寺館―

アートでめぐる ひょうごの五国

豊岡アートシーズンとは、豊岡市内で開催される文化芸術プログラムを一つにまとめてPRする取組で、2016年から始まり、今年で8年目となります。5月～9月までの春夏期と、10月～翌3月までの秋冬期の2期にわけ、音楽や演劇、古典芸能などの様々なジャンルのプログラムが市内各所で開催されます。ここでは、多彩な催しの中から8月開催の一部をご紹介します。城崎温泉や出石そば、神鍋のスキー場でも有名な豊岡市で、アートな時間を過ごしてみませんか?

豊岡市立美術館―伊藤清永記念館―

兵庫の五国(摂津・播磨・但馬・丹波・淡路)で開催される芸術祭のうち、今回は但馬地域で開催中の「豊岡アートシーズン2023」についてご紹介します。

豊岡アートシーズン 2023

催物情報 イベントガイド

兵庫県民アートギャラリー 078-321-2131 ※入場無料

- マリア・ヴィタ・ゴラル個展「バタフライネット」〈1階〉 8月1日(火)～8月10日(木) 立体・平面作品
- 第27回 玄心全国学生書展 〈2階〉 書約3,000点 8月4日(金)～8月6日(日)
- 六彩展2nd 2023 六彩舎文化交流書作展 〈2階〉 書約50点 8月18日(金)～8月20日(日)
- 第72回 旧三商大写真展関西展 〈2階〉 写真約50点 8月22日(火)～8月27日(日)
- 第48回 兵庫県青少年書道展 〈2階〉 書約850点 8月26日(土)～8月27日(日)
- 第38回 日本の海洋画展 〈2階〉 絵画約100点 8月28日(月)～9月3日(日)
- 神戸大学美術部凌美会「夏展」〈2階〉 洋画約20点 8月30日(水)～9月3日(日)

原田の森ギャラリー 078-801-1591 ※入場無料

- 藤原さん家展覧会 10回記念 ザ・ゲスト招待作家展 〈本館1階〉 油彩・アクリル・日本画・立体約90点 8月1日(火)～8月6日(日)
- 立体造形展 〈東館1階〉 彫塑・立体造形約30点 8月1日(火)～8月6日(日)
- 明分篆會展 2023 〈東館2階〉 書・篆刻約100点 8月4日(金)～8月6日(日)
- 2023県展(第60回県展)〈本館2階〉 8月5日(土)～8月19日(土)
- フォトロマン 創会12周年写真展 〈東館1階〉 写真約45点 ※8月7日(月)、8月14日(月)休館 8月8日(火)～8月13日(日)
- 色と遊ぶ 野口 毅(画業20周年記念展)〈本館1階〉 洋画約180点 8月9日(水)～8月13日(日)
- 絵葉書でめぐる近代史 ―ラップナウコレクション展 〈東館2階〉 絵葉書・ポスター等約30点 8月9日(水)～8月13日(日)
- 7ゲート2023 vol.5 〈本館1階〉 油彩・水彩・アクリル・写真約400点 8月16日(水)～8月20日(日)
- 公募 第45回青朝会日本水墨画展 〈東館1・2階〉 水墨画約100点 8月16日(水)～8月20日(日)
- 第28回全日本高校・大学生書道展 〈全館〉 書約900点 8月23日(水)～8月27日(日)
- 葦の会展 〈東館2階〉 油彩・アクリル約60点 8月29日(火)～9月3日(日)
- 第四回現在美術絶体 / ZETTAI 展 〈本館1階〉 平面・立体約60点 8月30日(水)～9月3日(日)
- 薫風会 仏像彫刻作品展 〈東館1階〉 仏像彫刻約100点 8月30日(水)～9月3日(日)
- かがやき神戸 ひだまりレインボー展覧会 〈障害者アートギャラリー〉 書・絵画・絵手紙・立体約20点 ～9月29日(金)

ひょうごアーティストサロン 078-321-2005 ※入場無料

- 兵庫県民会館ロビーコンサート 〈1階ロビー〉 8月19日(土)14:00～14:30
- 首藤主来ヴァイオリンコンサート 出演:首藤主来(ヴァイオリン)、中川さくら(ピアノ)
- 兵庫県美術家同盟新進作家選抜展 〈1階サロン内〉 8月1日(火)～9月30日(土) 兵庫県美術家同盟会員9人による作品9点 ※日・水・第2月はお休み、8月12日(土)県民会館休館日

芦屋市立美術博物館 0797-38-5432

- 特別展「最後の浮世絵師 月岡芳年」 ～10月9日(月・祝) 月岡芳年は過激な描写の作品が有名だが静謐な作品も多い。本展では全盛期から晩年の作品150点を展示し、過激なだけではなく芳年の魅力を紹介。 ※入場料1000円ほか
- 5組10人にチケットプレゼント。締切8月14日(月)必着

横尾忠則現代美術館 078-855-5607

- 特別展「横尾忠則 原郷の森」 ～8月27日(日) 小説『原郷の森』を軸に、横尾の言葉と絵が織りなす展覧会 ※入場料700円ほか【友の会割引あり】

神戸市立小磯記念美術館 078-857-5880

- 特別展「漫画家生活60周年記念 青池保子展 Contrail 航跡のかがやき」 ～9月24日(日) 中学3年生でデビューした青池保子氏の、今までの展覧会には出なかったモノクロ原画を含め300点以上の精緻な原画が堪能できる展覧会。 ※入場料1000円ほか【友の会割引あり】
- 5組10人にチケットプレゼント。締切8月14日(月)必着

兵庫県立美術館 078-262-1011

- メンテナンス休館 7月24日(月)～9月8日(金) 休館中は、敷地内への立ち入りできませんので、レストランやカフェ、ショップ等の館内施設は利用できなくなるほか、「円形階段」や「青りんご」等の撮影もできません。「美かえる」もお休み中となります。

プレゼントのご応募について

①希望プレゼント名 ②〒住所 ③氏名 ④電話番号 ⑤友の会会員の方は会員番号 ⑥ご意見・感想を明記し、ハガキかFAXで送付。
*応募締切後に抽選。当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。
*応募者の個人情報の取り扱いについては(公財)兵庫県芸術文化協会にて厳重に管理し、プレゼントの発送・関連するお問い合わせのみに利用いたします。
〒650-0011 神戸市中央区下山手通4-16-3 (公財)兵庫県芸術文化協会「すずかけ」係 FAX 078-321-2139



ピッコロシアター

【申込み・問い合わせ】☎06-6426-1940



<https://piccolo-theater.jp>

兵庫県芸術文化協会友の会会員は、主催公演を割引で鑑賞できます(本人のみ、事前予約・要会員証) アクセス▶■JR宝塚線塚口駅から徒歩約5分 ■阪急神戸線塚口駅から徒歩約8分

ピッコロシアター文化セミナー〈102〉
劇作家・演出家 岩松了×平田オリザ

「演劇のタクラミ ～地域で創ると いうこと」

舞台芸術の持つ力や魅力をお話しただく人気の教養講座。今回お迎えするのは、劇作家・演出家として第一線で活躍しながらそれぞれに“県立劇団の代表”“県立大学の学長”という顔も併せもつ岩松了さんと平田オリザさん。兵庫県での創造・発信に携わるお二人のトークにご期待ください。

【日時】8月29日(火)14時

【場所】ピッコロシアター 大ホール

【入場料】無料

(要申込・先着400名)



岩松了
(兵庫県立ピッコロ
劇団代表)



平田オリザ
(芸術文化観光専門
職大学学長)

ピッコロシアター鑑賞劇場 文学座「昭和虞美人草」

夏目漱石の「虞美人草」をマキノノゾミが翻案し、熱く描いた青春群像劇！

昭和の敗戦から、やがて高度経済成長の絶頂と終焉に向かう時代のうねりの中で錯綜する若者たち。ビートルズ、ストーンズといった70年代ロックが刻むビートに乗って、彼らは大人への階段を駆け上がる！

【作】マキノノゾミ

【演出】西川信廣

【日時】9月2日(土)14時/3日(日)14時

【場所】ピッコロシアター 大ホール

【入場料】全席指定 一般5000円 U25 2000円



シアタースタート くわえぱべっとステージ 「ぷっかり ぽっかり」

0歳から3歳までのお子さん、その保護者のために、はじめての劇場体験「シアタースタート」。今回は、小さな子どもたちのための人形劇3作品(上演時間30分)を上演。

【日時】9月15日(金)①10時 ②11時30分

【場所】ピッコロシアター 中ホール

【入場料】子ども 500円

その保護者 500円

子どもを伴わない大人のみ 1000円

※対象年齢 0～3歳

※各回先着60名



兵庫県立芸術文化センター

【申込み・問い合わせ】☎0798-68-0255 10時～17時・月曜休み ※祝日の場合翌日



<https://www.gcenter-hyogo.jp>

アクセス▶■阪急西宮北口駅南改札口スグ(連絡デッキで直結)

■JR西宮駅より徒歩約15分(阪急バス7分)

「佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ2023」



佐渡裕

夢いっぱいの子供たちから、音楽の贈り物—

今年で創立20周年を迎えるスーパーキッズ・オーケストラ。厳しいオーディションで選ばれた小学生から高校生までのメンバーが、今年も佐渡裕芸術監督と共に全力で音楽に取り組みます！

【指揮・芸術監督】佐渡 裕 【演奏】スーパーキッズ・オーケストラ

【曲目】ホルスト：セント・ポール組曲、レスピーギ：リュートのための古風な舞曲とアリア 第3組曲、チャイコフスキー：弦楽セレナード ほか

【日時】8月27日(日)10時30分/15時 【場所】KOBELCO 大ホール(芸術文化センター) 【入場料】A席3000円、B席1000円



プロムナード・コンサート

三浦謙司 ピアノ・リサイタル 「天と地」

神戸出身、現在ドイツ・ベルリンを拠点に世界的に活躍するピアニスト三浦謙司。ロン・ティボー・クレスパン国際コンクールの覇者が贈る、「天と地」をテーマにした無二のプログラム。ストイックなまでに音楽を追い求める新世代の才人の、類稀な美しい音色をぜひ一度お聴きください。

【出演】三浦謙司 【日時】10月1日(日)14時

【場所】KOBELCO 大ホール

(芸術文化センター)

【入場料】A席3000円、B席1000円

【曲目】ベートーヴェン：ピアノ・ソナタ 第14番「月光」、ドビュッシー：月の光、ガーシュウィン：ラプソディー・イン・ブルー(ピアノソロ版)、モーツァルト：きらきら星変奏曲 ほか



三浦謙司

カッティング・エッジ・キョウゲン

Cutting Edge KYOGEN 真夏の狂言大作戦2023

京都・大蔵流茂山千五郎家の当主茂山千五郎を筆頭に、まさに脂が乗った5名の狂言師によるユニット Cutting Edge KYOGEN。

Cutting Edge = “最先端”の狂言を目指し、ただひたすら笑いを追求し続ける彼ら。

骨の髄までしみこんだ狂言技法を巧みに操り、“本物”を知る彼らだからこそできる、“本物”かつ“最先端”のKYOGENを、今夏もひたすら追求します。

【出演】茂山千五郎、茂山宗彦、茂山 茂、茂山逸平、茂山千之丞

【日時】8月26日(土)11時30分、15時30分

【場所】阪急 中ホール(芸術文化センター)

【入場料】A席3500円、B席2000円



チケットを

購入されるお客様へ

※未就学児童はご入場いただけません。

※芸術文化センターでのご購入は、お一人様4枚までとさせていただきます。

※やむを得ない事情により、公演の中止や、出演者などが変更される場合があります。予めご了承ください。

世界中から選ばれた若いメンバーによる国際色豊かなオーケストラ

兵庫県立芸術文化センター管弦楽団

2023-24シーズン定期演奏会 9月よりスタート



芸術監督 佐渡裕



©飯島 隆

芸術文化センターにて
公演チケット発売中！

〈PAC公式SNS〉



<https://hpac-orc.jp/>



ウクライナ人アーティスト マリア・ヴィタ・ゴラル個展 Maria Vita Goral

「バタフライネット」

Butterfly Nets



マリア・ヴィタ・ゴラル

を願っています。

兵庫県では、「ウクライナ支援プロジェクト」ひょうごはウクライナとともに」に取り組んでいます。この中で阪神・淡路大震災からの「創造的復興」の理念が、ウクライナのまちの復興や地域社会の再生などに活かせるよう、ウクライナ支援検討会を設置しています。本個展は、この検討会に参加されているウクライナ人のナディア・ゴラルさん(神戸学院大学経済学部客員教授の妹で、現在、アーティストとして活躍されているマリア・ヴィタ・ゴラルさんが来日されるのにあわせて開催するものです。多くの皆様に、ウクライナアートに触れていただき、芸術文化の復興へのご支援をお願いいたします。

【日程】 8月1日(火)～10日(木) 平日10時～18時、日曜日10時～17時 ※スタッフ不在の場合は、ガラス越しに外から作品をご覧ください。 【場所】 兵庫県民会館1階・兵庫県民アートギャラリー1特別展示室 【入場料】 無料



豊岡市立美術館—伊藤清永記念館— 「お菓子ワールド」の楽しい展覧会 お菓子の神様をまつる神社の縁



豊岡市立美術館—伊藤清永記念館—の外観



中嶋神社の本殿(重要文化財)

「但馬の小京都」と言われる出石。城下町の中心部は国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、観光スポットになっています。その一角に、家老屋敷と隣り合わせで豊岡市立美術館—伊藤清永記念館—があります。

小学校まで出石で育った伊藤清永画伯(1911～2001)から作品の寄贈を受け、1989年に豊岡市立伊藤美術館として開館しました。市町村合併を経て2014年から現在の名称です。

伊藤の作品約300点が収蔵され、その一部が1階の展示室で公開されています。年に2、3回、作品を入れ替えるそうです。裸婦像が有名な洋画家ですが、現在は出石や沖縄、鳥取の風景画、母の肖像画、絶筆となったバラの絵などが展示されています。

期間限定の特別展は年に2、3回開かれます。豊岡市に何らかの縁がある美術家などを学芸員が掘り起こし、企画を立てています。地元若手作家や高校生、子どもの作品展も。現在は「渡辺おさむ お菓子の神様展Ⅱ」が1階と2階の展示室で10月1日まで催されています。

渡辺氏は1980年生まれ現代美術作家。山口



キノコのいすに座って写真が撮れる作品「お菓子の森」

県出身で東京造形大学デザイン学科卒業です。母親が製菓学校講師で、幼い頃から母が作ったお菓子に囲まれて育った影響から、作品のテーマがお菓子になったという異色の作家です。

食品サンプルの技術を応用し、樹脂粘土でクリームやキャンディ、フルーツなどを本物そっくり造形し、甘くてカラフルな「お菓子ワールド」を作り上げます。独特な芸術はテレビなどでも紹介され、海外でも中国、インドネシア、イタリア、ベルギーなどで個展が開かれ話題を呼んだそうです。

豊岡市はお菓子の神様「田道間守」をまつる中嶋神社があり、市内では2013年に県立円山川公苑美術館で初めて渡辺氏の展覧会が開かれました。渡辺氏も神社に参拝し、有子山稻荷神社や玄武洞などの名所を作品で取り上げています。

お菓子のアートが約150点。楽しく、不思議な世界に来館者は引き込まれ、「幸せな気持ちになれます」と学芸員の水谷由佳さんは話します。作品は撮影OK。「お菓子の宮殿の晩さん会」「お菓子の森」などの大がかりな作品では、いすに座って記念写真を撮れます。

豊岡市街の東に



読者プレゼント

豊岡市立美術館—伊藤清永記念館—特別展「渡辺おさむ お菓子の神様展Ⅱ」の無料入場券を抽選で5組10人に。応募方法は本紙2面。8月14日(月)必着。

ある中嶋神社は創建が推古天皇の飛鳥時代と言われ、本殿は国の重要文化財に指定されています。4月の第3日曜日に開かれる菓子祭り(橘菓祭)が有名で、全国の菓子業者からお供えが届きます。3年ぶりに開かれた今年は約2500人が集まったそうです。昨年は秋に初開催したハロウィンにもぎわい、恒例行事をめざしているそうです。

お出かけちょっとメモ
▶豊岡市立美術館—伊藤清永記念館—は豊岡市出石町内町98。開館時間は9時半～17時(入館は16時半まで)。水曜休館。入館料は大人500円(400円)、大高生300円、中学生以下無料。特別展期間中は別料金で「渡辺おさむ お菓子の神様展Ⅱ」は一般600円(500円)、大高生400円、小中生200円。()内は当協会友の会会員料金。JR豊岡駅またはJR八鹿駅から全但バス「出石」行きに乗車し、「出石」下車、徒歩約5分。☎0796・52・5456
▶菓祖総本社・中嶋神社＝豊岡市三宅1。JR豊岡駅から全但バス「神美經由出石」行きに乗車し、「森尾口」下車、徒歩約7分。催し等の問い合わせは氏子総代の百合さん(☎090・9545・9282)へ。

兵庫 テラワール 旅 TERROIR JOURNEY
私の感動、その先へ
QRコード
Our Field Our SDGs

兵庫県民会館
駐車場36台完備(24時間営業)

音楽会、講演会、研修会、展覧会などにご利用いただけます。
9階けんみんホール 定員360名。多彩な利用ができます。
11階パルテホール 定員150名。展示商談会、各種表彰式にも利用できます。
県民会館のSNS発信を始まりました。
facebook フェイスブック
ツイッター
兵庫県民アートギャラリー情報
○展示パネル、室内照明等リニューアル
○小展示室を拡張し、より広く使いやすく
※詳細は、アートギャラリー担当まで(連絡先は右記)

〒650-0011 神戸市中央区下山手通4丁目16番3号
【アクセス】
▷地下鉄山手線「県庁前駅」下車すぐ
▷JR神戸線「元町駅」・阪神本線「元町駅」下車、北へ徒歩約7分
お申し込み・お問い合わせ
TEL. 078-321-2131
FAX. 078-321-2138
https://hyogo-arts.or.jp
※空室情報はホームページで随時更新中

新型コロナウイルス感染防止対策にご理解とご協力をお願いいたします。